

地球化学研究室ってどんなところ？

地球化学研究室は、教授 1 名、准教授 2 名、助教 1 名、研究スタッフ 7 名、博士課程 6 名、修士課程 10 名、学士過程 4 名の計 31 名という大所帯で構成されています。この地球化学研究室は大きく分けて宇宙分野と地球分野に分かれており、宇宙グループは創成研究機構と理学部 6 号館、地球グループは北大博物館で研究をおこなっています。宇宙グループは、塚本先生をはじめとする大勢のスタッフが在籍しており、恵まれた環境の中で研究をおこなうことができます。また、先輩方も研究熱心で、論文出版に携わったり、国内外問わず学会に参加したりしています。そしてなによりもこの研究室からは、研究が楽しい、研究が好き、という様子が伝わってきます。また、メンバーの個性の豊かさも魅力の一つです。地球グループは現在、山本先生に加えて学生 6 人で活動しています。この研究室では、「地球に関わることならなんでもやっつけていい」という山本先生の考えに則り、先輩方の助言を参考に自分でテーマを考え研究をおこなっていることが特徴です。そのためテーマを決めるのに多くの時間を費やすこともありますが、その分研究に関して理解を深め、それぞれが自主性を持って研究に取り組んでいます。

研究紹介

宇宙グループでは、主に太陽系の物質進化の過程を解明することを研究目的としています。創成研究機構では主に分析、理学部 6 号館では実験をおこなって研究を進めています。また、創成研究機構には独自に開発された、同位体顕微鏡という世界に一台しかない装置があり、隕石試料表面の同位体分布を 3 次的にみることができます。地球組の人々は、主にマントル捕獲岩やその中の流体包有物から地球の物質循環を明らかにしたいと考えている人が多いようです。また、主に顕微ラマン分光法を用いて流体包有物の起源や進化を解き明かそうとしている人もいます。昨年度、世界最大級の分光器やサファイアアンビルセルが導入され、また遊び道具が増えて非常にワクワクしています。

文責：平成 28 年度卒業生 上林海ちる 十河佑矢 萩原雄貴

